

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2024 No.584

8 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



2024年度 第3回理事会 開催される (Web併催)

2024年7月6日(土)午後2時より、2024年度第3回理事会が日本診療放射線技師会事務所でWeb会議システムを併用して開催されました。冒頭に上田会長よりあいさつがあり、役員改選後、実質初めてとなる理事会であること、会長3期目として引き続き官公庁との連携を図ること、診療放射線技師の厚生労働省への出向が決まったことなどが述べられました。

理事会の主な議題は、「決裁権限規程の改正」「公印取扱規程の改正」「2024・2025年度組織図」「委員会・分科会の委員長選任」でした。

江藤副会長からは、決裁権限見直しのための規程改正案の説明があり、現行の運用を照らし合わせた規程改正になるとの説明がありました。続いて公印取扱規程改正案の説明があり、行政が進める押印廃止の方向に加えて、業務の効率化、事務作業の軽減化を目的とした改正になるとの説明がありました。審議の結果、いずれも全会一致で承認されました。

園田理事からは、2024・2025年度組織図ならびに事務局組織図について説明があり、事務局員の紹介とあいさつがありました。続いて委員会・分科会の委員長選任について説明

があり、特別委員会の告示研修実施運営委員会を業務拡大推進委員会に名称を変更し、業務拡大全般を担当するとの補足説明がありました。審議の結果、いずれも全会一致で承認されました。

その他、第41回日本診療放射線技師学術大会ポスター案、学術奨励賞・社会活動表彰の表彰候補者、医療被ばく低減施設認定サーベイヤー、医療被ばく低減施設の新規認定、令和6年能登半島地震に伴う会費免除について審議され、いずれも全会一致で承認されました。

報告事項としては、堀住事務局長から会員動向について、2024年5月末の会員数は32,917人、会員組織率は57.9%であるとの報告がありました。また各地域理事、各種委員会・分科会から34項目の報告がなされ、資料と共に共有されました。

最後に、上田会長からJART Vision 2040に基づき、環境変化に対応する組織を目指すことが述べられ、本理事会は終了しました。

詳細は、本会会誌に掲載される2024年度第3回理事会議事録(抄)をご参照ください。

本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<https://www.jart.jp>) 右上の“新規入会”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-4226-2211 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

INFORMATION

ISRRT World Congress 2024 Hong Kong 開催される

2024年6月7日(金)から9日(日)までの会期中、The International Society of Radiographers and Radiological Technologists (ISRRT) World Congress (ISRRT世界大会)が香港のHong Kong Convention and Exhibition Centreを会場に開催されました。

大会に先立ち、6月6日(木)午前にはISRRT Asia-Australasia Regional meeting (ISRRTアジア・オーストラレーシア地域会議)が、午後からはISRRT Council meeting (ISRRT評議員会)がハイブリッドで開催され、日本からは児玉副会長がISRRT理事として、上田会長が日本診療放射線技師会会長として出席しました。評議員会では暫定加盟団体の正式加盟問題や次々回となる世界大会開催地の検討が行われ、2028年は地中海に面したフランスのニース(Nice)で開催することが満場一致で承認されました。

学会発表では、日本から口述発表4演題、ポスター発表1演題が行われました。今回は、海外研究発表者渡航助成事業により4人に渡航費用の一部を助成しました。またISRRTの要請により、スリランカ放射線技師会にISRRTへの渡航



費用を援助することになっており、現地でWimalasena会長に手渡しました。

次回のISRRT世界大会は、2026年10月27日(火)から29日(木)まで、アラブ首長国連邦(UAE)のドバイ(Dubai)で開催されます。こういった機会でもないとなかなか中東を訪れることは少ないかもしれません。ぜひ2年後は、演題発表を中東の地でしてみませんか。



第3回MCI(軽度認知障害)予防検査に関する勉強会 開催される



2024年6月17日(月)午後1時より、衆議院第一議員会館会議室で第3回MCI(軽度認知障害)予防検査に関する勉強会が開催されました。冒頭に衆議院議員の木原誠二先生(自民党幹事長代理)からごあいさつがあり、その後、畦元将吾衆議院議員(本会会員)の進行の下、本勉強会が始まりました。

今回の勉強会では3人の講師がご講演されました。内容は、初めに「認知症早期発見への早期介入実証プロジェクト研究」について国立長寿医療研究センター研究所長の櫻井孝先生からご説明があり、次に、神戸市が取り組んでいる認知症診断の助成について、認知症の人が実際に起こした事故への賠償責任保険などの取り組みを例に挙げながら、神戸市福祉局の若杉副局長から説明がありました。最後に、エーザイ株式会社のチーフグロスオフィサーである内藤氏から、レカネマブの臨床効果について進捗の報告がありました。

3人の先生方からの説明後、本勉強会に興味をお持ちの議員の方から活発な質問がありました。主な内容は、「認知症早期発見の対象者は、年齢制限などを設けなければ、一般の方々も認知症早期発見の重要性の理解が高まるのではないか」。また「血液バイオマーカーなども、今後、発見する手段として重要との意見や、自治体を中心に検査を受診する人を増やす取り組みが重要ではないか」などの意見が交わ

されました。またエーザイ社の内藤氏からは、「レカネマブの認知度は高まっているも、認知症早期発見の重要性の認識や、レカネマブ使用までのカテゴリーなどの運用プランについても検討が必要ではないか」との意見も提案されました。



活発な意見交換の後、本勉強会リーダーの木原議員から総括があり、その後、畦元議員が3回の勉強会を通じ、MCI(軽度認知障害)の早期発見・早期対策を実現するための5つの提言案について説明されました。提言の主な内容は「認知症の方が尊厳

と希望を持って暮らすことができる共生社会の実現に向けて、認知症施策推進基本計画を策定し、認知症施策を推進する」ということでした。

今回、畦元議員から認知症早期発見についての「提言」が示されたことにより、今後、政府に向けて働き掛けを行うことが最後に述べられ、勉強会は終了しました。

今回の勉強会にも複数人の国会議員や厚生労働省関係職員、報道関係者らが出席されており、本勉強会のテーマが多方面の方々に関心を持たれている分野であることを改めて理解できました。

本会会員である畦元氏が提案された「認知症早期発見」について、今後は政府の動きを注視し、引き続き畦元議員には、この分野における活躍を期待したいと思います。

2024年度 第1回骨関節撮影分科会セミナー 開催される

2024年6月29日(土)、京都府立医科大学看護学舎で「膝・足関節荷重位撮影を学んでみよう」をテーマに、2024年度第1回骨関節撮影分科会セミナーが開催されました。近年、超高齢社会に伴い関節の変形や不安定性の評価を目的に荷重位撮影のニーズが高まっており、当日は、遠方からの参加者を含め、49人と多くの受講者が京都に集まりました。

今回のセミナーは、足関節撮影および膝関節撮影についての座学と、その荷重位撮影に用いる撮影補助具を作成するハンズオンの2部構成となっており、明日からの撮影業務に生かせる内容ばかりでした。座学・ハンズオン共に講師に気軽





に質問できることから、日頃感じている撮影に関する疑問などを参加者で共有・ディスカッションができ、会場型の良さを感じられるセミナーとなりました。

最後になりますが、本セミナーにご参加いただいた方々、会場手配や当日の準備にご尽力いただいた京都府診療放射線技師会の方々、会場を提供いただいた京都府立医科大学、当セミナー開催にご尽力いただいた分科会関係者各位に、心からお礼を申し上げます。

(骨関節撮影分科会 委員 関 将志)

2024年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会 開催報告

一般社団法人栃木県診療放射線技師会
会長 吉成 亀蔵

2024年6月29日(土)・30日(日)、栃木県総合文化センターで2024年度関東甲信越診療放射線技師学術大会を開催致しました。

早いもので前回開催から10年以上がたち、栃木の街も新しく次世代型路面電車システム(LRT)ができ、近代的になった姿をご覧いただけたことと思います。変化する世の中で、新しいものを創造するとともに、次世代へ大切に伝えていきたいものもあると思います。大会テーマを「一期一会～人から人へ伝える技・心～」としましたのは、人と人の出会いを大切に、技術と思いやりのある心を伝えるという思いを込めています。そして新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことを受けて、以前のように会場型で大会を行うことを決めました。この学術大会で出会う仲間、意見を交わす友などと、心を込めて会える場にさせていただいたことと思います。

本大会では、日本診療放射線技師会講演として、富田博信副会長に「JARTの2024年度事業の概説と2040年に向けて」と題し、これからの診療放射線技師の未来を見据えた講演を



開会式の様子



していただきました。特別講演では、国際医療福祉大学学長鈴木康裕先生から「新型コロナウイルスと今後の医療」についてご講演いただき、国政で活発に活動されている衆議院議員の畦元将吾先生からは「国政報告～国会議員唯一の診療放



富田副会長のご講演



実行委員の皆さま

「放射線技師として～」と題してご講演いただき、その中で岸田内閣総理大臣からの私たちにに向けたビデオメッセージを頂きました。教育講演では、獨協医科大学 放射線医学教室教授 曾我茂義先生から「IVRと画像診断の鍵を握る、頼れる診療放射線技師とは」、市民公開講座では、メジャーリーグジャーナリストのAKI猪瀬先生に「個性と組織論 ～メジャーリーガーから学ぶ～」と題し、それぞれご講演いただきました。その他、一般演題、ベーシックセミナー、シンポジウム、ランチョン

セミナーなど、充実した内容を行うことができました。さらに特別企画として、栃木県臨床検査技師会と栃木県臨床工学技士会に、タスク・シフト/シェアで業務がどのように変わってきたかをお話していただきました。他職種の方に関東甲信越診療放射線技師学術大会でご講演いただくのは初めてではないでしょうか。

最後に、本大会にご尽力いただきました全ての皆さまに感謝申し上げます。

診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

栃木県

一般社団法人栃木県診療放射線技師会 理事 佐藤 宏

栃木県診療放射線技師会は2024年6月9日(日)午前9時から午後3時30分まで、栃木県総合文化センター第2会議室でフレッシューズセミナーを開催しました。日々の診療における基礎知識の習得、職場におけるコミュニケーションづくり、県内の診療放射線技師間のネットワークの構築を目的とし、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全、医療用語、感染対策、被ばく低減、入会案内の7科目を用意し、対面形式で開催しました。

対象者を免許取得後1～2年目の診療放射線技師として県内各施設に通知したところ、19施設から申し込みがあり、34人の参加がありました。フレッシュらしく初々しい姿がまぶしく、真剣に聴講している姿が印象的でした。本年は「医療用語」を栃木県診療放射線技師会独自の講義として用意し、日々の臨床で医師や看護師が使用する用語・略語を確認できたことは非常に有意義でした。

自己紹介の場では、現在、担当している部門、趣味・特技などを話してもらうことで和やかな空間が生まれ、それ以降



の講義に対して緊張が解れ、講義への理解度が高まったり、横のつながりを構築できたりしました。

今後は同じ診療放射線技師会会員として、卒後教育講座や学術研究発表会などで研鑽し、会全体を盛り上げていきたいと考えています。



石川県

公益社団法人石川県診療放射線技師会 前会長 森下 毅

2024年6月29日(土)、石川県立中央病院で2024年度フレッシューズセミナーを開催しました。コロナ禍ではオンデマンド形式の開催としてきたため、5年ぶりの対面式開催となりました。

冒頭、私から診療放射線技師会事業の紹介をはじめ、私たちの職域に関する近年の動向を述べ、新しい技術や手法に対する学習意欲を持ち続けることの重要性を説明させていただきました。セミナーの内容は、医療安全や感染対策などの座



学、自己紹介のほか、医療コミュニケーションの上達を目的として、「患者さんに優しい移乗（トランスファー）実技研修」を行いました。21人の参加があり、有意義なセミナーとなりました。今回のセミナーを通じて、参加者の皆さまがさらに専門性を高め、医療現場での貢献度を増していくことを期待しています。



京都府

公益社団法人京都府診療放射線技師会 学術理事 中川 政幸

2024年6月30日(日)、京都テルサ東館2階視聴覚研修室で診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーを開催しました。感染症対策のため過去4年間はWebで開催していましたが、5年ぶりに対面、現地開催を行うことができました。

事前に把握できた新人53人にセミナーの案内状を送付すると29人から申し込みがあり、既入会者と合わせて40人が集まりました。セミナーは従来通りの開催要項に従い、医療安全：片山雅人、被ばく低減：前田富美恵、エチケット・マナー、医療コミュニケーション：丸山久喜、感染対策：四丸真俊、入会案内：久保田裕一会長らが講師として対応し、約4時間の充実した講義が行われました。

新人技師としてスタートした3カ月は、放射線医学や臨床についての技術的なことの学習に集中していると思います。そのため医療従事者として基礎になる接遇やコミュニケーション、安全などを学ぶ機会が少ないため、このセミナーはとても重要で有効だと考えています。

医療安全においてはグループワークを取り入れ、他施設の

技師とのコミュニケーションを取る機会が設けられました。全体的に積極的にセミナーに参加している雰囲気でも、これからの活躍に期待できる方々が参集していたと感じました。全地区委員会が隣室で同時開催され、セミナー終了後は恒例の集いもあり、そちらにも多くの方が参加され、充実した日になったと思います。入会案内も丁寧な久保田会長から行われたので、加入促進につながったのではないかと思います。



診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

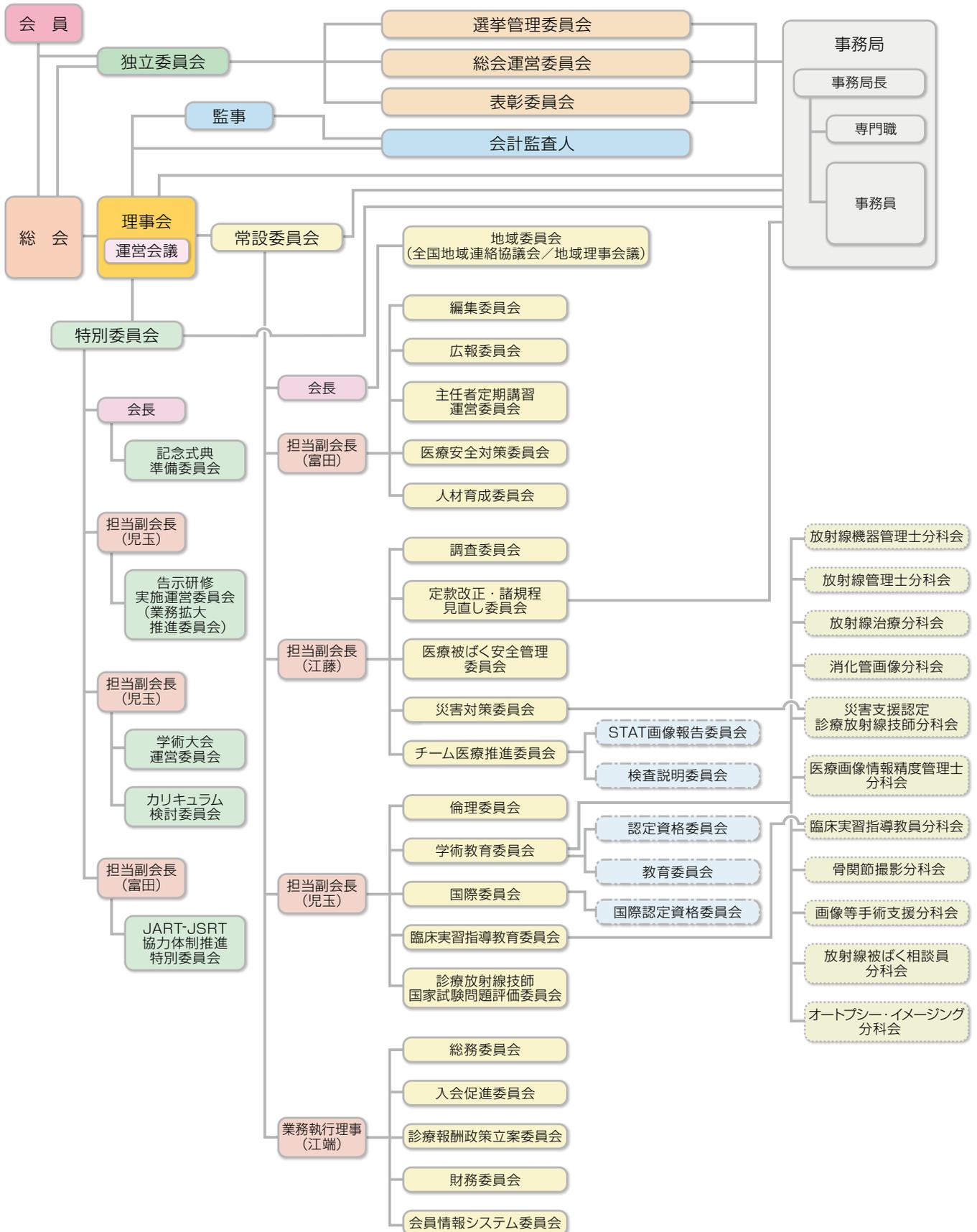
プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定：

福島 8月4日(日) 富山 8月4日(日) 大分 8月10日(土) 広島 8月18日(日)
沖縄 8月25日(土)

公益社団法人日本診療放射線技師会 2024・2025年度 組織図



都道府県（診療）放射線技師会会長および事務所一覧

技師会名	会長	郵便番号	住所	電話番号
一般社団法人北海道放射線技師会	富田 伸生	064-0823	札幌市中央区北三条西29-3-2	011-643-2713
公益社団法人青森県診療放射線技師会	佐藤 兼也	030-0803	青森市安方2-17-15-802 ライオンズマンション新町通	017-763-0931
一般社団法人岩手県診療放射線技師会	目時 毅	028-3603	紫波郡矢巾町西徳田5-20-70	019-698-2155
公益社団法人秋田県診療放射線技師会	川又 渉	010-1106	秋田市太平山谷字中山谷247-32	018-838-3231
公益社団法人宮城県放射線技師会	坂本 博	983-0824	仙台市宮城野区鶴ヶ谷3-4-15	022-388-3777
一般社団法人山形県放射線技師会	鈴木 幸司	990-9585	山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部附属病院 放射線部内	023-628-5786
公益社団法人福島県診療放射線技師会	新里 昌一	963-0201	郡山市大槻町字原ノ町3-1	024-954-7595
一般社団法人新潟県診療放射線技師会	金沢 勉	950-0822	新潟市東区新岡山2-1-18	025-257-2255
一般社団法人栃木県診療放射線技師会	吉成 亀蔵	320-0032	宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館4F 404号室	028-625-7979
公益社団法人茨城県診療放射線技師会	沼尻 俊夫	310-0851	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館5F	029-243-6747
一般社団法人群馬県診療放射線技師会	五十嵐 博	371-0022	前橋市千代田町1-7-4 群馬メディカルセンター本館5F	080-8709-5978 (技師会携帯)
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会	富田 博信	331-0812	さいたま市北区宮原町2-51-39	048-664-2728
一般社団法人千葉県診療放射線技師会	石田 有治	260-0843	千葉市中央区末広3-24-9 セザール蘇我102	043-264-9101
公益社団法人東京都診療放射線技師会	江田 哲男	116-0013	荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号室	03-3806-7724
公益社団法人神奈川県放射線技師会	田島 隆人	231-0033	横浜市中区長者町4-9-8 ストック伊勢佐木一番館501	045-681-7573
一般社団法人山梨県診療放射線技師会	土橋 永	400-0035	甲府市飯田2-19-7	055-244-1111 (会長勤務先)
一般社団法人長野県診療放射線技師会	柳澤 直樹	390-0847	松本市笹部1-3-7 GBオフィス102号	0263-87-7778
公益社団法人石川県診療放射線技師会	石黒 充	920-8621	金沢市小坂町中83 医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院 放射線部内	076-252-2101
公益社団法人富山県診療放射線技師会	澤木 福光	930-0115	富山市茶屋町225-2	0763-32-3320 (会長勤務先)
公益社団法人福井県診療放射線技師会	村中 良之	910-0851	福井市米松1-16-31 NTビル2F	0776-57-0696
公益社団法人静岡県放射線技師会	高橋 真	420-0064	静岡市葵区本通1-3-5 フェリス本通202	054-251-5954
公益社団法人愛知県診療放射線技師会	水口 仁	467-0807	名古屋市長瀬区駒場町5-12-5 ハイライズ瑞穂2-C	052-851-5571
公益社団法人岐阜県診療放射線技師会	加藤 秀記	500-8384	岐阜市数田南3-5-23-503	058-272-0082 (TEL/FAX)
一般社団法人三重県診療放射線技師会	武藤 裕衣	514-0032	津市中央2-4 三重ビル502号	059-225-1491
公益社団法人滋賀県診療放射線技師会	武田 宣明	520-8511	大津市長等1-1-35 大津赤十字病院 放射線技術部内	077-522-4131 (内線2203)
公益社団法人京都府診療放射線技師会	久保田 裕一	604-8472	京都市中京区西ノ京北壺井町88-1 二条プラザ1F	075-802-0082
公益社団法人奈良県診療放射線技師会	小林 勝宏	634-0076	橿原市兵部町2-9 フレガビル4F	0744-24-6270
一般社団法人和歌山県診療放射線技師会	宮崎 雄司	641-8510	和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部内	080-2894-6917
公益社団法人大阪府診療放射線技師会	藤田 秀樹	543-0018	大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館5F	06-6765-0301
公益社団法人兵庫県放射線技師会	後藤 吉弘	650-0022	神戸市中央区元町通5-2-3-1011	078-351-5172
公益社団法人岡山県診療放射線技師会	高尾 渉	700-0867	岡山市北区岡町16-10-201	086-235-1313
公益社団法人広島県診療放射線技師会	木口 雅夫	730-0853	広島市中区堺町2-4-26 ラフィネ堺町204	082-208-1434
一般社団法人鳥取県診療放射線技師会	壹岐 勝	680-0901	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院 中央放射線室内	0857-26-2271
一般社団法人島根県診療放射線技師会	古川 春美	690-0332	松江市鹿島町佐陀本郷133-2	0852-33-7251
一般社団法人山口県診療放射線技師会	三輪 光良	753-0814	山口市吉敷下東3-1-1 山口県総合保健会館3F	083-923-1120
一般社団法人徳島県診療放射線技師会	藤原 良介	770-0855	徳島市新蔵町3-80 徳島県東部保健福祉局 徳島保健所 疾病対策担当	088-602-8907
一般社団法人香川県診療放射線技師会	門田 敏秀	760-0080	高松市木太町2367-1	087-862-2626
公益社団法人愛媛県診療放射線技師会	大元 謙二	790-0825	松山市道後樋又8-29 メゾン・ド・ルー道後樋又403号	089-989-4941
公益社団法人高知県診療放射線技師会	中村 伸治	780-0850	高知市丸の内1-7-45 高知市総合あんしんセンター2F	088-872-4585
公益社団法人福岡県診療放射線技師会	塩谷 正貴	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡内	092-631-1184
一般社団法人佐賀県放射線技師会	北村 茂利	849-8501	佐賀市鍋島5-1-1 佐賀大学医学部附属病院 放射線部	0952-34-3177
一般社団法人長崎県診療放射線技師会	岩田 浩一	852-8501	長崎市坂本1-7-1 長崎大学病院 医療技術部 放射線部門	095-819-7435
公益社団法人大分県放射線技師会	吉田 幸人	870-0023	大分市長浜町2-7-22 株式会社マイダスコミュニケーション内	097-574-7625
一般社団法人熊本県放射線技師会	西小野 昭人	861-8528	熊本市東区長瀬南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内	096-386-1388
一般社団法人宮崎県放射線技師会	蕪 俊二	880-0902	宮崎市大淀3-5-18 南宮崎駅前ビル2F	0985-51-5860 (留守番電話対応)
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会	太田原 美郎	892-0861	鹿児島市東坂元4-28-11	099-248-0028
一般社団法人沖縄県放射線技師会	久場 匡	901-2104	浦添市当山2-5-11-103	098-942-1375

※ の部分につきましては、昨年度より変更となっています。

(2024.7.17 現在)

INFORMATION

最終回

第1回日本放射線医療技術学術大会 (1st JCRTM)
第40回日本診療放射線技師学術大会 (40th JCRT)
第52回日本放射線技術学会秋季学術大会 (52nd Autumn Scientific Congress of the JSRT)

沖縄への道 Go To OKINAWA

運営委員 紺野 能稔

(一般社団法人沖縄県放射線技師会 副会長)

ゆいまーる (学会開催) までカウントダウン

皆さん、「沖縄への道」もついに最終回です。全9回の連載を通して、沖縄の自然や伝統、観光名所などを紹介できたことを心から嬉しく思います。

「ゆいまーる」は、沖縄の方言で「助け合い」や「共生」を意味します。

今年の学会は、日本診療放射線技師会と日本放射線技術学会の初めての合同学会です。この特別な学会で「ゆいまーる」、すなわち助け合いの精神をテーマに、私たちの協力の大切さを改めて感じられることでしょう。

ゆいまーるの精神は、私たち診療放射線技師にも通じるものがあります。それは患者さんとの信頼関係を築き、同僚と協力しながら、より良い医療を提供するための基盤です。

沖縄での学会は、全国から集まる専門家たちとの交流の場です。新しい技術や知識を学び、これまでの知識と経験を深め、医療の質を向上させるための絶好のチャンスです。

また沖縄の自然や文化に触れることでリフレッシュし、新たなインスピレーションを得ることができるでしょう。ぜひ、沖縄の美しい海や豊かな自然も楽しんでください。エメラルドグリーンの海やサンゴ礁、豊かな生態系が皆さんを待っています。

「ゆいゆい」と歌うように、沖縄の美しい風景の中で皆で助け合い、心をつなげて学び合う機会が待っています。この学会で得られる新しい知識や経験は、私たちの職業に対する情熱と責任感を一層高めるものとなるでしょう。

私たち診療放射線技師は、患者さんの健康と安全を守るために常に学び続ける必要があります。沖縄の地で「ゆいまーる」の精神を胸に、互いに助け合い共に成長することで、職業に対する誇りと使命感を再確認できることでしょう。

長い間お付き合いいただき、本当にありがとうございました。沖縄でお会いできることを楽しみにしています。



沖縄県放射線技師会 久場新会長と職場の皆さん

JCRTM2024

第1回 日本放射線 医療技術学術大会

第40回日本診療放射線技師学術大会
第52回日本放射線技術学会秋季学術大会

会場 沖縄 コンベンションセンター
会期 2024年 10月31日(木) ~ 11月3日(日)



ゆいまーる

診療放射線技術の共創
All Japan
Radiological Technology



JART

■ 大会長：上田 克彦
■ 実行委員長：富田 博信



JSRT

■ 大会長：白石 順二
■ 実行委員長：奥田 保男

【お問い合わせ先】 第1回 日本放射線医療技術学術大会運営事務局
所在地：株式会社リンケージ沖縄内 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 2-8-8-2F
TEL：050-3666-2460 / FAX：098-890-1921 / E-mail：jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp
HP：https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024



Patient eXperience (PX) — 患者視点での医療の質 —



厚生労働省が2015年6月に示した提言書「保健医療2035」によれば、今後の日本の医療は「インプット中心」から「患者の価値中心」へ、「キュア中心」から「ケア中心」へとシフトする。これまでの医療は、医療技術の高度化や確実性を高め、病気を根治させることで患者満足度を向上させてきた。しかし、医療の目的が病気の根治から患者のQOL（生活の質）の実現へと移行している現代において、従来の考え方だけでは患者の多様なニーズに応えることは難しい。

さらに専門家でない患者が医療サービスの品質を適切に評価することは極めて困難である。そこで注目されているのが、Patient eXperience（以下、PX）という質指標である。PXは、患者の意向やニーズ、価値に応じたケアの提供を評価するもので、近年、国際的にも重視されている。

PXが向上することで、患者のアドヒアランス（治療への順

守）や予防医療行動の促進が期待でき、最終的には健康アウトカムに良い影響を与えるとの報告が多数ある。また患者の満足度向上、クレームの減少、ロイヤルティの向上に伴い、職員の満足度や定着率の向上、在院日数の短縮、コスト削減による収益の改善など、多くの恩恵が得られることが明らかである。またPXの向上はクレームや訴訟、医療事故のリスク低減にも有効である。

特に、日本人はサービスの品質に敏感であり、質の悪いサービスを受けた場合、10人のうち7人が友人や家族にそのサービスを利用しないよう勧めるとの報告がある。厚生労働省の令和2年受療行動調査によれば、医療機関にかかる際の情報入手先No.1は口コミであり、その割合は約7割に達している。PX向上に取り組むことは、患者のみならず私たちにとっても有用であると考えられる。（文責：小林 聖子）

第1回日本放射線医療技術学術大会

情報交換会の開催について

2024年11月2日(土)に学会会場で開催する予定です。

お申し込みは、大会ホームページのMENU内「情報交換会」からお願いします。

申込人数が上限に達し次第、締め切ります。

<https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024/index.html>



INFORMATION

8月・9月の講習会などスケジュールのご案内

- 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会合同市民公開講座：埼 玉 2024年8月24日(土)
 - 3Dハンスオンスキルアップセミナー（初級編）：東 京 2024年9月29日(日)
 - 画像等手術支援認定診療放射線技師資格試験：全国のCBTテストセンターのパソコンで試験を実施
(テストセンター一覧：<https://cbs.com/examinee/testcenter/>) 2024年9月から2025年1月まで
- ※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

- 告示研修（実技研修）／業務拡大に伴う統一講習会／診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース（会場型）：
本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム（JARTIS）をご参照ください。

[e-ラーニング（ストリーミング方式）]

- 告示研修（基礎研修） 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修（在宅） 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2025年1月26日(日)まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格の取得を目指す在宅講習受講生の募集 ・ラダーレベル3 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から各認定資格試験終了日前日まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格失効者講習会（在宅） 2024年12月20日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2025年1月26日(日)まで何度でも視聴いただけます。

- オンラインセミナー（在宅）：本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム（JARTIS）をご参照ください。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。

INFORMATION